

## 第 6 回 杉並区立西宮中学校改築等検討懇談会

会 議 名	第 6 回 杉並区立西宮中学校改築等検討懇談会
日 時	令和 8 年 1 月 2 3 日（金）10 時 00 分～11 時 58 分
場 所	西宮中学校 多目的室
出 席 者	<p>&lt;委員&gt;</p> <p>学識経験者：柳澤 要、入江 優子          宮前五丁目南地区防災防犯会会長：大熊 和夫          西荻南一、二丁目南部町会：小山 圭子          松庵東町会：三浦 春江          西宮中学校 P T A 会長：廣田 香乃子 西宮中学校 P T A：坂井 初枝          西宮中学校学校運営協議会会長：岩谷 俊行          西宮中学校学校運営協議会：立入 聖堂          西宮中学校学校運営協議会：小寺 正芳          西宮中学校学校支援部本部長：大島 和美          西宮中学校推薦者：新留 敬子          西宮中学校校長：立花 忠司 西宮中学校副校長：大金 泰光          高井戸第四小学校 P T A 会長：安田 敬子          松庵小学校 P T A 会長：室津 佳介          久我山小学校 P T A 会長：宮澤 恵里子          ゆうゆう館関係者：桐ヶ谷 仁          懇談会委員 18 名（欠席 8 名）</p> <p>&lt;事務局&gt;</p> <p>学校整備・支援担当部長：高山 靖 学校整備課長：安川 卓弘          学校支援課長：中曾根 聡 教育施設計画推進担当係長：山田 育未          政策経営部施設整備担当課長：花岡 純子          地域施設担当課長：近藤 伸吾 高井戸地域担当課長：櫻井 宏          高齢者施設整備担当課長：海津 康德</p>
傍 聴 者	5 名
次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 設計事業者紹介</li> <li>3 基本設計（案）作成の流れ</li> <li>4 改築・整備基本方針実現に向けた提案</li> <li>5 その他</li> <li>6 閉会</li> </ol>

資 料	資料 1	基本設計（案）作成の流れ
	資料 2	改築・整備基本方針の実現に向けた提案
	参考資料 1	設計事業者紹介
	参考資料 2	プロポーザル技術提案書概要版（5者）

委員	<p>皆さんこんにちは。本年もどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>ただいまから第6回杉並区立西宮中学校改築等検討懇談会を開催いたします。本日はお忙しい中、懇談会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>本日の懇談会ですが、2時間程度を予定しておりますので、進行につきましてご協力いただければと思います。</p> <p>本日、欠席の連絡を頂いている委員は6名です。それから、30分程度遅れるという連絡を頂いているのが、2名です。</p> <p>また、2名がリモートでの参加となっております。</p> <p>それでは、配付資料の確認等を事務局からお願いいたします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>以前皆さんとお会いしたのは昨年8月末だったと思います。皆さん覚えていらっしゃるでしょうか。</p> <p>本日ですけれども、今までの懇談会と席が変わっていると思うのですが、この意図としては、これからモニターを使ったりする機会が増えますので、少しでもモニターに近くという形で、こんな形の席にさせていただきました。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、本日使用します資料についてご確認をお願いいたします。</p> <p>本日机上配付してございますのは、参考資料1と参考資料2、席次表、ご感想シートとなっております。</p> <p>また、郵送された配付物をご持参されていない方はお手をお挙げいただいて、お知らせいただければと思います。事務局よりお持ちいたします。皆様大丈夫そうですかね。郵送した資料は次第と資料1、2となります。</p> <p>それでは、本日の次第を御覧いただけますでしょうか。A4の1枚です。</p> <p>この次第なのですが、ここで一点訂正がございます。次第の右上の年を「令和8年」に修正をお願いいたします。申し訳ございません。</p> <p>まず、資料1ですけれども、A4の両面1枚となっております。資料2は、ホチキス留めになってございます。漏れ等がないかいま一度ご</p>

	<p>確認いただきまして、足りない資料がございましたら、お知らせお願いいたします。また、机上にございます参考資料は1と2で、両方ともホチキス留めで、資料名は右上に記載してございます。</p> <p>なお、今回の参考資料2につきましては、区のホームページにも掲載しているものになってございますので、今回特段ご紹介する予定はございませんので、本日は参考に机上配付をさせていただきました。</p> <p>それでは資料のご確認ありがとうございました。議事に際し、御覧いただく中で落丁等、お気づきの点がございましたら、都度お声がけいただければと思いますので、よろしくお願いたします。</p> <p>また、懇談会を進めるに当たりまして、お願いがございます。会議は原則公開となります。会議資料や会議録も原則公開となり、教育委員会のホームページに後日掲載いたします。会議の記録のため、録音、撮影をさせていただくことをご了承いただきますよう、お願いたします。</p> <p>さらに、懇談会を傍聴したいとご希望される方がいらっしゃる場合は基本的にお認めになることになってございますので、あらかじめこちらもご了承願います。なお、傍聴者は発言ができませんので、ご了承願います。</p> <p>そして、本日から事務局として、防災課や営繕課の職員も参加してございますので、紹介させていただきます。</p> <p>まず営繕課になります。</p>
営繕課	よろしくお願いたします。
教育施設計画 推進担当係長	次に、防災課の防災担当係長です。
防災担当係長	よろしくお願いたします。
教育施設計画 推進担当係長	<p>以上です。よろしくお願いたします。</p> <p>それでは、議題をお願いたします。</p>
委員	ありがとうございました。それでは次第2「設計事業者紹介」について、まずは事務局からお願いたします。
学校整備課長	<p>学校整備課長です。皆様、よろしくお願いたします。</p> <p>先ほどもございましたけれども、前回は昨年8月ということで4、5か月空いて、この間プロポーザルの選定ということで設計事業者の選定をしておりました。</p> <p>昨年の4月から8月までの前半戦を少し振り返ってみますと、皆様からご意見を頂きまして、またアンケートですとか、オープンハウスなどでご意見を頂きながら、今回の学校の改築、それからコミュニティふら</p>

	<p>つととの併設ということで、目指す施設像ですとか、そういったことを改築の基本方針としてまとめたといったところが前半戦の内容だったかなと思います。</p> <p>それを具体化するに当たって、しっかりした力量と意欲を持っていらっしゃる事業者の方を選ぶということで、通常だと価格競争で選ぶのですけれども、今回はそうした公募型のプロポーザルということで選定をいたしました。昨年の10月から3回、選定委員会というのを設けまして、その選定をして、選定が終わったところということでございます。</p> <p>選定経過をご紹介させていただきますと、今回は6社、非常に多くの事業者の方からご提案を頂いております。一次の書類審査、それから二次のプレゼンテーションの審査なども踏まえまして、全体として最も高い評価を受けた昭和設計の方が選定をされたということでございます。</p> <p>選定委員会を設けまして、そこで学識経験者の方にも入っていただいて選んできたということですが、この懇談会にもご参画いただいている2名にも、選定委員にご参画いただいて、選んでいただいたということになっておりますので、後ほどコメントなども頂戴できればと考えております。</p> <p>本日の進め方でございますが、次第を見ていただきますと、まず昭和設計さんのプロポーザルの提案内容、こういったものを事業者の方から、まず今日はご紹介いただくといったことをしていきたいと思っています。それから基本設計で、最初に整理が必要になってくる部分、今後の進め方等についても確認をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>それでは、昭和設計さんからの紹介に入る前に、学識経験者のお二人から、プロポーザルでの全体的なコメントですとか、昭和設計さんに期待されることなど、少しコメントを頂けるとありがたいなと思います。お願いします。</p>
委員	<p>今回、設計プロポーザルで事業者を選定したということで、そういう通常の入札で決めるということがまだまだ多いのですが、価格というよりは、提案とか質できちんと設計事業者を選んでいくという姿勢は非常に重要かなと思います。なので、こういったプロセスを取るということ自身がまず非常に意義深いことかなと思っております。</p> <p>それから今回ですが、6社応募して、そのうち5社を二次審査に上げるということで、最近結構、応募しても手が挙がらなくて、なかなか競争が働きにくいということも多いのですが、今回は非常に優れた設計事</p>

	<p>務所が応募しまして、本当はもっと絞り込もうということもあったのですが、それぞれの提案のレベルが非常に高いということで、5社を二次審査に上げたという形になります。</p> <p>どの案も非常に優れた提案で、審査員の中でも大分議論したのですが、最終的には今回これから紹介ある昭和設計の案が選ばれたという形になります。</p> <p>大体この辺は通常審査員の間である審査員はこちらの案を推して、ある審査員はこちらの案を推すみたいに、もめたりすることもあるのですが、昭和設計さんの提案は大体どの委員も非常に高評価、どの項目においても評価が高いということで、特に異論もなく満場一致で決まったという形かなと思っております。</p> <p>後で詳しい案の説明はあるので、どんな提案だったのかというのは説明があると思いますけれども、普通教室の環境が特に優れている。全部南向きで非常に日当たりもよくて、かつ非常に機能的な配置であるということとか、それからコミュニティふらっとと中学校側のゾーニングが結構明快で使いやすいだろうと。一方で、間に西宮ストリートを挟んで両方にアクセスしやすく、かつ交流がしやすい配置であるということも評価の対象になったかと思います。</p> <p>それから、特徴的なのはラーニングセンターという図書館を中心に配置されて非常に使いやすい。普通教室からも特別教室側からも使いやすい配置にあるということですか、それから特別教室も教科の性格に応じて、コモンズとしてまとめられて、非常にその辺も効率的でかつ使いやすい配置になっているのではないかとこともあったかと思いません。</p> <p>そういう意味では機能、それから使い勝手も非常にいいのではないかとこととか、環境面とか。一方でそれほどコストがかかるような造りになっていない。非常にコンパクトでまとまった設計になっているのではないかと考えております。</p> <p>今後いろいろご意見等、いろいろな打合せの中で、この案自身がよりよく変わっていくという部分はあるかと思えますけれども、非常に優れた提案で、これからの新しい中学校として期待できると思っております。</p> <p>私からは以上です。</p>
学校整備課長	ありがとうございました。
委員	おはようございます。よろしく願いいたします。

	<p>私も選定委員という形で参加させていただきましたが、今かなり詳しいご説明がありましたので、付け足しのような形でお話をさせていただきますと、今回は業者さんを、こういった設計の提案をもって決めていくということで、この提案自体が採択されたというわけではないというか、ここからこの業者さんとこの提案をたたき台にして、皆さんと意見交換しながら実際の学校づくりをしていくということで理解をしています。</p> <p>そういう意味では、それぞれの各社の提案もすばらしい面がいろいろあるのですけれども、皆様方の学校に望むコンセプト、この間で言いますと、基本方針をどれだけご理解くださっているかとか、それからこの会の議事録もしっかり読み込んで、ある程度どういったご希望があるのか、例えば今回であれば中学校スペースというのはしっかり確保しつつ、安心して学べるという環境をしっかりと確保しつつ、コミュニティふらっとどう連携していくかとか、融合する部分がどうかとか、そういった辺りの意向をすり合わせていくような、そういったことができる会社さんかどうかという、そういう点も委員の中では重視して、審査をさせていただいたところです。</p> <p>そういう中で決定されたというところで言いますと、今後、皆様方とワークショップですとか、形態は分かりませんが、意見交換を取っていただきながら進めていっていただけるのではないかと期待しているところです。</p> <p>後ほど、設計の特徴とかは、先ほどありましたけれども、より詳しくご説明があると思います。私も非常にそういう意味では、姿勢としてもそういったところがありましたし、提案自体も、学習スペース、中学校スペースの塊ですとか、オープンにする場合の部分的なオープンの仕方がとてもシンプルでというか、あまり複雑ではない形けれども融合しやすいような設計で考えられていたり、それからコミュニティスペースとの、町並みの調和というのでしょうかね、外からの市民として使う場合の使いやすさとか、そういった辺りもかなり考慮に入った提案をしてくださっている業者さんですので、その辺、どんどんご意見を言っただきながら、いい形で進められればいいかなと思っているところです。</p> <p>以上です。</p>
<p>学校整備課長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>なお、先ほど少しご紹介がございましたが、今回参考資料2というこ</p>

	<p>とで、二次審査に進んだ、昭和設計さんの分も含めて5社の企画提案書、これは1社2枚に概要版としてまとめていただいたものでございますので、こちらを参考におつけしております。特に今日ご説明はいたしません、区のホームページにも載っておりますので、ご関心あれば御覧いただければと思います。</p> <p>それでは本日、昭和設計さんからプロジェクトを担っていただくチームの方々にお越しいただいておりますので、自己紹介などお願いできればと思います。</p>
<p>設計会社</p>	<p>皆さん、おはようございます。今回、設計を担当させていただくことになりました株式会社昭和設計でございます。よろしく願いいたします。</p> <p>後ほど我々の紹介を前でさせていただくのですが、今日来ておりますのは5名です。私を含めて4名が設計者で、1人が営業担当となっております。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、私たちの自己紹介をさせていただこうと思います。</p> <p>改めまして、私どもは昭和設計といいます。創業が1957年でございます。今年で69年目になる総合設計事務所でございます。</p> <p>設計事務所はよく個人名、創業者の名前をつけている事務所がございますけれども、私たちは創業者1人のエゴではなくて、みんなで組織力でいいものをできるだけつくっていかうと。特にその時代の年号であります「昭和」というものをつけて、よりいいもの、先端的なものをやっいていかうと、そういうことを創業者は目指してスタートした設計事務所でございます。</p> <p>私たちの事業紹介ですが、建築の設計全般がメインであります。それとともに水処理関係の部門も持っております、建築とそれに付随するインフラ、そういうものも少し設計をやっておる事務所でございます。</p> <p>拠点は私たち東京事務所、港区にあります、担当させていただくメンバーは東京事務所のメンバーです。</p> <p>そのほか、本社は大阪市北区にあります。そのほか九州と仙台に拠点がありまして、この4拠点で北から南まで日本国中の設計をしております。</p> <p>私たちは建築設計、特定の用途だけではなくて、スポーツ・文化施設から庁舎、オフィス、あらゆるものを設計しております。簡単に紹介しますと、オリンピックでいいますと水泳のメイン会場のアクアティクスセンターであるとか、最近の大阪万博では開会式・閉会式がありました</p>

シャインハットでありますとか、太陽の塔がありますけれども、これはもちろん岡本太郎さんの作品ですが、これがずっと放置された状態です。数年前に私たちが耐震改修と建築物として成り立つようにいろいろ改修しまして、現在は誰でも見られる施設として改修をしたというものです。そのほか、京都美術館とかいろいろやっております。

私たちは教育施設の実績も多数持っておりますので、ここからはここを中心に詳しく説明したいと思います。

今、工事中なのは江戸川区の小学校でございます。そのほか、世田谷区の中学校の設計も今、やっておるところです。

何種類かご説明します。私は2年前まで大阪の事務所におりましたので、関西が中心になるかもしれませんが。

まずこれは中高一貫校でございます、大阪府市統合がありました。その目玉施設であります中高です。ここは国際バカロレア認定を取りまして、世界中の大学を受けられる公立の学校なのですが、授業を英語でやらないといけないということで、YMCAさんが運営する、恐らく世界で初めての公設民営のバカロレア学校になります。

昨今の新しい学び方ということで我々が取り組んでいる一環でもあるのですが、従来のように単に各科目の勉強を覚えるとか、そういうものだけではなくて、これから日本の人材として、自分で表現する力とかコミュニケーションの力、そういうものをどんどん養っていかないといいなということがありますので、私ども建築のハードのほうもそういうものを促すような空間づくりをしていっているところです。

これはちょうど今設計が終わりました小中一貫の義務教育学校というもので、1年生から9年生まで一緒に学ぶ公立学校です。これも先ほどご紹介いただきましたように、ラーニングセンターというものを中心に展開した学校でございます。

こちらは大阪城の一角にある私立の小学校です。これは今、豊臣のテレビがありますけれども、ちょうど徳川に埋められてしまった豊臣時代の石垣が地下から発見されたので、その場所にそのまま保存して、石垣もこういうものも学校の中につくったものです。

こちらはさくら小学校ということで、いろいろ取り上げていただいたのですが、ここは樹齢120年ぐらいの木がありまして、これを保存活用しよう。それを取り巻くようにアメーバ状に展開した校舎づくりです。

この地域は非常に地域の活動が盛んでして、学校にもすごく、地域の

方が学校を使うというだけではなくて、いろいろ子どもさんへのサポート、学習サポートとか、いろいろ環境面でのサポート、そういうことをしていただいていた学校ですので、そこの建て替えということで、いろいろ盛り込んで学校中に地域活動をサポートする人たち、使う側、両方も学校の中に組み込もうということで、これは主に2階建てですけども、2階に全て子どもたちの教室を置いて、1階は地域の方も含めて、どちらかというと全体が公民館のような、2階の子どもたちが1階に通って学ぶような、そんな学校づくりをしました。

ここは2021年度に完成したのですが2023年度、コロナ明けに再開されました全国の優良学校施設の表彰がございまして、最優秀賞を取らせていただいたものです。

こちらの小学校なのですが、大規模校で1,000人クラスの建物で、この地域は非常に子育て世代が流入している地域でして、教室が足りないということと老朽化している、両面で建て替えが決まったものです。

こちらはすごく敷地が狭いということもありまして、それも含めて、もうえいやということで中心に体育館を持ってきて、体育館をスポーツだけではなくて学習の場にもなるように、そういうことを考えて、周囲にいろいろな学習施設を取り囲んでつくります特殊な小学校です。これは今建設中です。

昨今、学び方が非常に変わっております。小学校でいうと2020年、中学校でいうと2021年に、約10年単位で改訂されます学習指導要領が改訂されました。そこで従来は学ぶ内容を改訂されていたのですが、そこでは学び方を初めて改訂されまして、いろいろな学び方、発表とか、そういうことをやっていなさいと文科省から出てきたものです。そういうことを踏まえて、体育館というのはもう少し柔軟に使えたらということで、ここはそういうものを重視してつくった学校です。

こちらは建設が始まったところですが、奈良の正倉院の中にある小学校と、もう一つ桜の有名な川沿いにある小学校を合体、再編する小学校です。そこでは子どもたちのワークショップを経て、特に正倉院の森の中で小学校があった側の子どもたちが森の中で本を読んだり、木の下で学んだりというのはすごくよかったと、そういう声も聞きまして、子どもたちと一緒に、森の中のような図書館を中心に展開するような学校づくりをしました。

こちらは、関西では芦屋といってちょっと閑静な住宅街の中にある中学校です。こちらは中庭を中心に展開しようということでつくりました

学校です。中庭に、ここは山手なので、すごく緑が多い地域です。中学校の中にも森のような場所をつくって、そこを中心に展開しようと、そういうことを考えた中学校でございます。

こちらは淡路島の中学校でして、これは阪神・路大震災があった震源地の町です。そこに2つあった中学校を1つに統合しようということで、ここのシンボルにしたいというのが地域の方のご意向でした。それを踏まえてつくった学校です。

これは2004年なのですが、ここは既に図書館に関しては、司書のボランティアの方も地域の方で、たくさんおられました。そういうことを踏まえて今回のように、図書というのは非常に学びの中心になるということで、こちらが図書コーナー、図書室なのですけれども、ここはオープンです。子どもたちが通行する交差点のような場所、学校の中心に図書室を設けて、その部屋ではなくて、オープンして、多少の本は取られてもいいと。それよりもそんなに好きだったら取っていったらいいのではないか。そんなことも考えて、図書により親しんでいただけるような中学校をつくったというものです。

こちらは六甲山の中にある急勾配の崖地にある高校です。こちらも先ほど言いました学習指導要領が改訂されるということで、アクティブラーニングを、大学のように小中高やっていくということがテーマになっておりました。ここはこの学校の中でもアクティブラーニングの拠点にしたいということでつくった校舎の1つでございます。

ここは組合せテーブルとか、いろいろなことを展開できるような工夫、この学校は調理コースとかそういうお菓子作りコースもありましたので、六甲山で山荘とかもたくさんあるので、薪ストーブを使ったりとか、ピザも焼けるような、そんな学校づくりをしました。

ここは大阪湾を一望できる高台にありますので、すごく夜景のきれいな、そんな景観を生かした学校です。

大学も少し紹介しますが、これは文教大学の越谷キャンパスです。正門のいったところで、学生さんは全員ここを通りゲートのような校舎です。ここは教育学部を中心とした校舎でした。それこそ小中高、これから新しい学び方、アクティブラーニングを含めて、子どもたちを教えないといけない、そういう先生を育てる大学になりますので、新しい学び方を学ぶということを念頭につくった校舎でございます。

こちらは九州の私立の福岡大学の工学部棟です。工学部ですので建物も含めて、いろいろな仕組みを理解して勉強にもなるように、校舎もそ

	<p>ういうことを考えて、それとコストダウンも考えてですが、ここは全て天井を張っていない、天井裏がこんなふうになっているのかということも勉強できるような、そういう大学の校舎づくりをしました。</p> <p>そのほか、これは高知のほうのキャンパスです。ここは高知県立大学と高知工科大学が合体して1つのキャンパスを使う、2つの大学が1つのキャンパスを使うというキャンパス全体をつくったものです。</p> <p>2つの大学はそれぞれ独立した帰属性を感じさせながら、自然に交流が図りやすいような、そういう大学の空間づくりをしていこうということを考えて設計したものです。</p> <p>最後になりますがこれ、大阪大学のイノベーションセンターで、これは大学、企業さんを含めて、産官学連携の目玉、拠点の校舎です。ここは企業さんのラボ、貸しラボとかもあって、大学の教授、学生、産業界が一緒になってイノベーションをしていくためのラボをつくった校舎でございます。</p> <p>私たち、いろいろこのように、幼稚園から大学まで、あらゆる教育施設をやっておる事務所でもあります。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>以上で、私たちのご紹介を終わらせていただきます。</p>
委員	<p>昭和設計の皆さんありがとうございました。</p> <p>それでは次に次第3「基本設計（案）作成の流れ」を区からご説明いただきます。それではお願いします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>それでは次に、次第3の「基本設計（案）作成の流れ」に移らせていただきます。資料1「基本設計（案）作成の流れ」を御覧ください。A4カラーで両面印刷されているものです。</p> <p>1枚目には、以前皆様にもご紹介させていただきました全体の工程のスケジュールを掲載してございます。裏面の2ページ目は、その1枚目の基本設計部分をクローズアップして掲載しているものになります。</p> <p>まず、基本設計とは、というところからなのですが、恐らく私から第2回目の懇談会で少し説明をさせていただいたのですが、もう一度説明をさせていただきます。</p> <p>基本設計というのは、建物に対する考え方、敷地・立地条件の調査、建築基準法等の関係法令の適合、平面・立面・断面図の基本図面、所用設備などをまとめていくというものになります。</p> <p>この改築等検討懇談会は、委員の皆様とのご意見や課題認識の共有を通して、校舎の配置や諸室の配置などを取りまとめた基本設計案を作成</p>

	<p>していくことを目的としています。</p> <p>この基本設計案を基に、西宮中・コミュニティふらっとの改築整備工事の基本設計が作成される予定です。今回の資料はその大まかな段取りを示したものになります。</p> <p>この裏面のところになるのですけれども、上の帯が月で下の丸が懇談会を表しています。</p> <p>本日これから昭和設計さんにご紹介いただく改築・整備基本方針の具体化に向けた提案内容は、校舎の配置のほか、諸室の配置など、多岐に及ぶものとなります。そこで、最初に校舎等の配置を、出入口等を含めて検討するところから始めてまいります。これについては後ほどプロポーザルの企画提案を提示していただく形になっております。</p> <p>配置案につきましては、本日頂くご意見や、最新の敷地条件等を考慮し、改めて昭和設計さんに作成していただき、次回の懇談会までには複数の配置案を皆様にお示しする予定になっております。</p> <p>これらの複数の配置案についても、また皆様からご意見ですとか、ご質問、ご提案などを承って、メリット、デメリットを比較検討して決めてまいりたいと思っております。</p> <p>その後、諸室の配置について、同様の手法で検討していき、最終回を予定してございます7月から8月の懇談会までには基本設計案をまとめてまいりたいと思っております。</p> <p>なお現時点では、懇談会は9回となっておりますが、昨年と同様、必要に応じて懇談会を追加する考えもございます。</p> <p>今後の基本設計案の作成の流れにつきましては以上となります。</p>
委員	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの説明について何かご意見ご質問等ございますでしょうか。もしありましたら挙手をお願いします。</p> <p>よろしいでしょうか。ないようですので、また何かありましたら後ほどおっしゃっていただければと思います。続けさせていただきます。</p> <p>次に今回のプロポーザルについてのご提案を頂きました昭和設計さんに、次の次第の4ですけれども、改築・整備基本方針の具体化について、ご紹介をしていただきます。それではよろしく願いいたします。</p>
設計会社	<p>それでは、ご紹介いたします。</p> <p>それでは皆さんお手元にあります資料2を御覧いただきたいと思っております。めくっていただきますと右下に小さいですがページ数、数字を書いておりますので、そちらもご紹介しながらと思っております。座らせていた</p>

だいてご説明いたします。

まず、めくっていただきまして1ページ目です。

こちらは懇談会で「目指すべき学校像・施設像」盛り込まれています改築・整備基本方針からの抜粋です。ここを原点としまして、こちらの内容を具現化するために、私たちがご提案した内容についてお話を始めたいと思います。

めくっていただきまして、右下の3ページになります。

今回の西宮中学校改築・コミュニティふらっと宮前の整備は、杉並区様が掲げる「みんなのしあわせを創る杉並の教育」という理念の下、子どもたちの自主・自律の教育を支えるみんなの学び舎を実現することを目指しております。

これは単なる校舎の建て替えということではなくて、子どもたちが自ら考え、学び、成長できる教育環境を整えるとともに、地域の皆様にも開かれた施設として、多世代が交流できる場所をつくる計画です。

ページをめくっていただきまして、まず設計者選定の経緯ですが、私たちは、先ほどご紹介がありましたプロポーザル方式というもので選ばれた設計者でございます。プロポーザル方式といいますのは、設計者の考え方や技術力を評価していただき、設計者を選ぶ方法です。提案しました具体的な建築物の案をそのまま実現するというのではなくて、今回紹介するものはあくまでも案、それに基づく考え方を評価していただいたというものです。選ばれた設計者が改めて計画を練り直すような方式になります。

今からが本当の設計のスタートだと考えております。この中で杉並区としては初めての学校とコミュニティ施設の複合化という新しい取組として、これからの学校とコミュニティ施設の在り方を多角的に検討しまして、地域の学び舎としての新しい形を皆様と一緒に作り上げていきたいと考えております。

めくっていただきまして5ページ目です。プロポーザル案で私たちが提案した配置案について少し触れます。

私たちは校舎をどこに配置するのが最適かを検討していくため、この段階では3つの案を比較しております。

左に評価軸を5つ示しています。教育環境、敷地への出入りしやすさ、周辺環境への配慮、仮設校舎の必要性、工事車両の動線、こういった評価軸を基にこの段階では北側に校舎を配置する案、東側に校舎を配置する案、南側に校舎を配置する案の比較を一旦しております。

この段階で、比較検討の上、現時点では現在建っておりますこの校舎と同じ北側に配置するのが最もバランスの取れた計画ではないか。それであって周辺にお住まいの皆様の住環境も現状と大きく変わらないのではないかなということを考えております。

ページをめくっていただきまして6ページです。

周辺住民の皆様への配慮として、私たちは近隣にお住まいの方々の生活環境を第一に考えたいと思います。

まず日照への配慮。建物はどうしても高くなってきますが、できるだけ敷地境界からセットバック、距離を離すということをするので、周辺への日影の範囲をできるだけ少なくしたいと思います。建物敷地境界から後退させて配置する。それと、高い部分を少しでもより奥にへこませる、そういう工夫をしていきたいと考えています。

次のページをめくっていただきまして、こちらが配置計画の現段階の全体イメージです。これは南側から見たイメージです。

主な特徴として現段階で考えていますのは、4階建ての校舎を敷地北側に配置すること。校庭は南側にできるだけ広く、まとまりのある、できるだけ四角い校庭を確保すること。現状では試算では100メートルトラックも取れるのではないかと考えております。

正門は現在と同じ北側に配置することを現時点では考えております。

敷地内に残る大きな既存の樹木は、可能な限り保存していこうと考えております。

現段階では校庭の舗装を、これは今後の検討になりますが、一旦中学生の様々なクラブ活動も考えて、土系の舗装では今のところ考えていますが、土ぼこりも考えられますので、水まき設備とか保水性のもの、そういうことも工夫していかないといけないと思っています。

続きまして8ページになりますが、現時点での建物の配置図となります。後者は全体としては北寄りですが、これは1階の平面イメージも併せて載せています。

中央に「西宮ストリート」と名づけました屋外のストリートを考えています。そのストリートから東側に入り口も含めた校舎部分、西側、左側に体育館とコミュニティふらっと宮前を配置するようなイメージを現段階では考えています。

中央を南北に貫く「西宮ストリート」は、専門から校庭まで南北に貫きます。生徒たち、地域の方々の活動があふれ出して活発なイメージを学校中ににじみ出せるような、そういうしつらえを考えていきたいと思

います。

続きまして次のページは少し拡大した1階の現段階のイメージです。9ページです。

1階は学校の顔となる重要なフロアと考えています。中央の西宮ストリートを挟みまして、東側に校舎、西側に体育館とコミュニティふらつとです。

まず右側、東側の紫色の部分全体が教職員様のエリアで考えています。職員室、警備室、保健室などなどから、正門、校庭、学校の主要な部分が見渡せるような、安全管理に配慮した配置を考えていきたいと思っています。

職員室、保健室、事務室などは、集中的に計画しまして、「教職員コモンズ」と呼ぶエリアを形成したいと考えています。教職員コモンズですが、教職員の皆様が連携しやすいように働きやすく、子どもたちの学びに資するような、そういう準備ができやすいような、そういうエリアを考えていきます。

次のページ、10ページです。10ページは2階です。2階は我々、今回、現時点で考えています学びのメインフロアになっています。「ラーニングセンター」と名づけております図書館を発展させた空間を中央に設けたプランでございます。

このラーニングセンターから南側に普通教室、いわゆる1年生から3年生までそれぞれの拠点となる普通教室、クラスルームをラーニングセンターの南側に配置しています。2階部分は、現時点では1年生かなと想定しております。

そのラーニングセンターの北側には全ての特別教室を並べるような計画を考えています。特別教室というのは、普通教室以外の理科室であるとか音楽室、美術室など、特徴のある教室のことです。

この特別教室の前、ラーニングセンターとの間の東西に全体を貫くこの通路を私たちは「アカデミックストリート」と名づけております。この特別教室はこのアカデミックストリートという廊下部分に面することで、各教科が有機的につながっていけるような空間づくりができるのではないかと考えています。

各教科の区分けというのは大昔に決められたものですが、そういう中間領域的な学びというのをやっていかないといけないということも含めまして、有機的に各教科がつながっていけるような、あらゆる学びができるような、学校の中心にしていきたいと思っています。

中央のラーニングセンター（図書室）は、3層吹き抜けの学びのコアにしたいと思います。読書、学習、交流など、子どもたちが自分で居場所を選んで自主的に学べる環境を提供したいと考えています。

学校の中央のこのラーニングセンターと、この絵では左側の階段をメイン階段と考えていますが、この全体で「学びのコア」と位置づけたいと思います。この部分で2階から4階まで吹き抜けでつながっていく計画です。

このメイン階段を子どもたちが上り下りするということも含めまして、それぞれが互いに活動をかいま見て、それぞれが刺激を受け合いながら切磋琢磨し、主体的な学びが生まれるような、そういう交流の在り方を考えていきます。

学校の中心にこれらがありますので、授業の合間や休み時間にもこのラーニングセンターは寄りやすい場所、本を読む、調べ学習をする、友達と会話するなど自由に使える空間を考えています。読書、学習、交流など、生徒が目的に応じて居場所を選択できる計画です。

続きまして、次のページ、11ページが3階です。3階も同様に南側に普通教室を並べています。3階は、2年生をまとめたイメージをしております。

ちなみに、各学年でワンフロアにまとめる計画をしております。メイン階段はほかの学年も通行するのですけれども、どの場所に行くにも、この学年エリア、ここでは「コモンズ」と呼んでいまして、「学年コモンズ」、それぞれの学年の教室周りの活動が、ほかの学年の方々の移動によって邪魔されない、ディスターブされないような、そういう空間構成を取りまして、各学年の安定した学習環境を保つというものが、各学年のコモンズでございます。

続きまして12ページが4階です。4階も同じような構成で南面に面した普通教室、一旦ここでは3年生と考えていますが、各フロアをどの学年にするかは今後検討があるのかなと思っています。

ちなみに4階は体育館の上にあります。プールを配置する計画をしています。4階フロアからスムーズにアクセスできるプールを考えています。バリアフリーで段差がなくアプローチできるプールです。周囲には目隠し壁を設置しまして、生徒の周辺からのプライバシーにできるだけ配慮したいと思います。なお、プールを最上階に配置するという一方で、地上の校庭スペースを最大限確保できるように考えたいと思います。

以上が各階のイメージです。

ここまでが基本計画でいいますビジョン1のイメージです。ビジョン1というのは、子どもたちの学びを中心としたビジョンです。

次のページ、13ページです。これは断面構成ですが、先ほども申しましたように、ラーニングセンターを断面的にも中心に配置しまして、「OS」と書いてありますのは「オープンスペース」、「CR」と書いていますのは「クラスルーム」で、普通教室各学年の生徒の拠点になる教室です。そこが廊下、またはオープンスペースを介してラーニングセンターとつながっていく、そういう構成です。

次のページ、めくっていただきまして、14ページです。

先走ってしまいました。さっきのビジョン1はまだちょっと続きます。

正門の位置と動線計画について説明します。

正門ですが、現在と同じ北側に配置することを現在はイメージしております。校庭まで続くメイン動線であります「西宮ストリート」が続いていきます。この「西宮ストリート」は、あらゆる機能の出入口が面することでのぎわいがにじみ出すような、中心となるエリアです。

左側、西側の外部側にコミュニティふらっと宮前を配置しまして、学校の正門を含むセキュリティラインを赤の点線でラインを引いていますが、ここから外部分に配置することによりまして、子どもたちの安全管理がしやすいような配置を考えています。

このセキュリティライン、赤の点線は、学校占有部分と地域開放部分を区切る境界性のことです。これにより地域の方が施設を利用する際も生徒の安全を確保するということです。

ちなみにこの敷地周辺は少し狭い道路もありますので、できるだけ敷地内に歩道状の空地、もしくはコミュニティふらっと宮前の前には少し遊歩道的な部分もできたらつくりたいと思っております、区民の方々、生徒さんも含めて、安全な歩行空間、憩いの空間をつくれたらと思います。

続きまして、15ページに移ります。先ほど少し申しました1階の教職員コモンズを拡大したものです。

この管理機能を集約して教職員の皆様が連携しやすく働きやすいオフィス空間をつかって、子どもたちに、よりよい学びを提供できるように考えています。教職員の働く環境を整え、より質の高い教育を提供できるという拠点です。

この教職員コモンズの近くには、学校支援本部やP T A室など学校支援をしてくださる方々の拠点を近くに配置することで、スムーズな連携が実現できるような配置を考えていきたいと思ひます。

続きまして 16 ページに移ります。右側に少し概念図がありますが、昨今私たち昭和設計が考えております学校の在り方のイメージを示しております。

学校の紹介でも少し触れました学習指導要領というものが文科省から出されるわけですが、そこで学び方というものが、現在はどんどん変わってきているというものです。アクティブラーニングのようなものを含めて学び方を新しくやっけていく。表現する力とかコミュニケーションする力というものを養って、これから世界に打って出ていくような人材を育成するということが最終目標になるのだからと思ひますが、そのためには、例えば、調べる、実践する、表現する、振り返るといった、そういう活動が有機的に連続的にできるような学校づくりが必要なのではないかと考えています。

そういうことを含めて、中央にラーニングセンターを設けることで、本であるとか各メディアというものを学びのネタとして、いつでも使いやすいような、そういう新しい学びが行いやすいような学校づくりをしていくということを考えています。

西宮中学校が目指す「自主・自律の教育」の実現に向けて、「学びの循環」が連続的に展開される、また「主体的で深い学び」を誘発する学校づくりを行っていきます。全ての学びの機能をこの案では2階に集約するというので、生徒が自分の興味関心に応じて自由に学習の場を選択できる環境を実現いたします。

続きまして 17 ページに移ります。そのラーニングセンターの現段階のイメージです。

この3層吹き抜けの空間で各学年のエリアから視線が通って、ほかの学年も含めてどんな学習をしているのかなというのをお互いにかいま見れるような、刺激を受け合えるような拠点を考えています。

生徒が自分で選択できる多機能かつ多様な居場所づくりを考えていきます。

続きまして 18 ページです。2階分をもう少し詳しく説明していきます。2階の東西を貫く青のラインの「アカデミックストリート」という特別な考え方の廊下・通路を考えています。理科、音楽、美術など、教科の枠を超えた教科横断的な学習環境、S T E A M教育と一般的によく

言われますが、そういう環境をつくっていきます。専門性の高い知的好奇心をくすぐるアカデミックストリートの空間をつくることで、自ら学ぶ力を育み、「自主・自律の教育」の実現を目指していきます。

このアカデミックストリート沿いは、単に特別教室が並んでいるということだけではなくて、例えば少し展示スペースがあったり、音楽でいうと楽器に触れられるコーナーであるとか、映像教材が少しかいま見られるとか、そういう仕組みをつくっていただけならなと考えております。

続きまして19ページに移ります。19ページは生徒さんたちの拠点となる各学年の普通教室周りを拡大した部分です。これは2階部分を示しておりますが、先ほどもちょっと言いましたが、各学年のまとまりを大切にするため、我々が「学年コモンズ」と呼んでいますエリアを形成したいと思います。メイン階段からあらゆる場所に各学年が移動する際に、ほかの学年の学年コモンズを通過しなくてもいいような動線計画をしまして、学年コモンズで、学年単位で活動したり勉強したりという、そういうものを邪魔しない、ディスターブしないような空間構成を取っていきます。

この学年コモンズには「先生ステーション」というものを現在提案しようと思っております。ここは休み時間、放課後も含めて、もしかすると先生の居場所にならないかなと考えていますが、見守りの場として活用するほか、将来的には学習支援者、地域の方も含めて、そういう学習支援の方々への居場所としての活用も想定したものです。

教室とその前の廊下、またはオープンスペースなどの間仕切り部分は引き戸で簡単に開放できる仕組みを考えたいと思います。そうすることで各教室で完結する活動だけではなくて、ここを開放して、学年単位で全体で活動したり、グループワーク、もしくは全体での集会など、多様な学習形態、多様な人数活動に対応できるような空間構成を考えていきます。

この普通教室は年度によって多少増減していきます。現在のところ3室とか、多くても4室ぐらいかなと思われていますが、この横に多目的教室を普通教室と同じ形で並べていきますと、将来予想外に教室の必要性が増えてしまった場合にも、普通教室に転用しやすい、そんなフレキシブルな空間構成を考えていきたいと思っております。

2階のメイン階段の近くには特別支援教室を配置したいと考えております。メイン階段の近くに配置することで、各学年の近くに、すぐにアクセスできるようなことを考えたいと思っております。できるだけ皆さん、

ハンディキャップあるなしにかかわらず、同じ空間・時間で学ぶということの基本をしながら、少しできない活動の場合だけ、そこを活用しやすいような、そういうような配置計画を考えていきます。これを一般的にはインクルーシブ教育と呼ばれていると思います。

続きまして 20 ページです。教室の前の通路、またオープンスペースのイメージを、現時点でのことを考えております。

先ほど申しましたように右側にあります普通教室は、簡単にガラガラっと引き戸で開けて、この廊下またはオープンスペースと一体化できて、自由に組み合わせできるテーブル等を含めて、5人、6人のグループ単位に分かれて集団学習など、様々なグループ活動、グループワークの展開がしやすいような活動空間、もしくは各学年の前には様々な学年活動で使うような資料、もしくは展示パネル、展示壁のようなものをつつらえることで、より活動が活性化するような空間を考えています。

ここまでがビジョン1、学びを中心とした提案の部分でございます。

続きまして 21 ページからは、ビジョン2に移ります。防災関係もしくは安全安心、そういったことをテーマにした基本計画でのまとまりがビジョン2です。

この学校は災害時にも学校機能を早期に再開できるような計画を、まずは考えていきたいと思っています。

防災機能の集約をまずは考えていまして、中央を貫く西宮ストリートから左側、西側に避難所のメイン空間となります体育館を配置します。また、先ほど申しましたようにコミュニティふらっと宮前を隣接して西側に配置する、西側エリア側に配置するというので、もしかすると体育館だけではなくて、要配慮者の方々の避難場所としても、コミュニティふらっとが使いやすいような、そういうことを考えてのものです。

この西側のエリアの周辺には、外部側にも、かまどベンチとか、マンホールトイレとか、そういうものをこのエリアにしつらえることで、日頃は憩いの場として使いながら、例えばかまどベンチは、災害時には炊き出しの1つの機能として使えるなど、そういうことを西側に集中したらどうかと現在は考えています。

なお、この西宮ストリートを挟みまして、西側が避難エリア、緑で囲った部分を避難所として全体として使いやすい配置を考えますと、この災害時の避難の期間が、2か月、3か月、長期的に避難をしないといけなような災害時でも、この西宮ストリートから東側に、子どもたちが入っていけるルートが確保できますので、早期に学校が再開できる。そ

ういう学校づくりをしたいと考えています。

続きまして 22 ページです。環境配慮面です。

昨今、ZEBとよく言われるのですが、これは「Zero Energy Building」の略として、エネルギー消費を大幅に削減した建物を総称して言われているものです。ZEBの中にもいろいろなグレードがありまして、ZEB Readyというものの達成を現時点では考えています。

環境に優しい学校をつくることで、子どもたちの環境教育にも役立つような、環境教育の教材となるような校舎づくりも考えていきたいと思っています。

基本としますのは、エネルギーをかけずに快適な校舎づくりですので、風通しがよくて、日差し、明るさも取り込みやすい校舎づくりを基本に、費用対効果の高い環境配慮の計画を盛り込んでいこうと考えています。

以上が短いですが、ビジョン2の現段階での計画です。

続きまして 23 ページからは、ビジョン3、コミュニティふらっとと学校の融合。地域の皆様に大きく関係していくビジョン3になっていきます。

学びのプラットフォームとして運営していく観点からも、明確なゾーニングによる安全安心な学校、コミュニティふらっととして整備していくという工夫をしていきたいと思っています。

まず明快なゾーン分けをするということです。コミュニティふらっとと学校占有部分を明確に区分していきます。このグレーになった部分は学校エリアになっていきますので、ここは入らずに、皆様が使いやすいような計画をできるような配置です。

上側が2階部分になりますが、コミュニティふらっとから階段ですぐ上がっていくと、特別教室がずらっと並んだエリアになっていきます。今後は特別教室も地域の方々に開放していくのではないかとということも含めての、アクセスのしやすい計画を考えています。2階にすぐ、コミュニティふらっとから上がりますと、一番開放されるのではないかとと思われる家庭科、これはキッチンのあるところですね。それとか音楽室、美術室辺りがすぐにアクセスできるような計画です。

将来、学校開放をさらにしたいということであれば、アカデミックストリートを東側に開放できるようなことを考えていけば、技術室、場合によっては理科室も開放できるのではないかと思います。さらにラーニ

ングセンター、図書室も将来的には開放しやすいような空間構成ですので、図書も含めて、皆さん、もしかすると開放していただける学校になるのではないかなと考えております。

できるだけ見通しのよい学校づくりもしていきますので、空間構成として視線の通りがよい。もしくは、あらゆる場所に教職員の方々の視線が通るような学校づくりを考えて安全安心な複合化を実現していきたいと思います。

なお、このコミュニティふらっと宮前は、正門の外側からアクセスするような空間構成を取ります。それをするによって学校が長期休暇で、正門が閉まっても、皆様がコミュニティふらっとを使いやすいような空間構成です。

また、現在のゆうゆう大宮前館の活動を継承する観点も含めて、先ほど申しました2階の特別教室も使いやすいような計画をまいります。

続きまして24ページです。「多世代交流による共育・共創の促進」を考えていきます。

今回の複合化で最も大切なポイントと考えていますのは、いかに多世代の交流が生まれるかということだと思えます。コミュニティふらっと宮前のラウンジは中でも一番重要な場所だと考えております。この場所を、このコミュニティふらっとの入り口に面したところに計画することで使いやすく、皆様が入ってきたらすぐに目に止まるようなラウンジをつくっていきます。

お互いの存在を感じ合いながら、関心をそれぞれの世代でも持ち合えるような新たな学びの機会を広げる場として計画していきます。

次のページをめくっていただきまして、25ページがそのラウンジの内観イメージを表しております。このラウンジは、皆様の家庭、学校に次ぐ第三の居場所、学びの場となるような新しい場所、みんなのリビングのような場所として計画したいと思えます。

異なる世代が違う目的であっても同じリビングのような空間にいるということで、自然な出会いと交流が生まれるのではないかということを考えますので、このみんなのリビングのようなラウンジを重視して考えていきたいと思えます。

例えば現時点で考えていますのは、中学生を含む近隣の生徒児童の皆様が気軽に寄って自習ができるような席、また高齢者の方が談笑しやすいエリア、親子で過ごせるようなスペース、各世代の居場所を共存させ

	<p>てお互いの関心を生むことが重要だと考えています。</p> <p>続きまして最後のページになりますが、26 ページです。この継続的な交流の場づくりとして、外部空間も工夫をできるだけしたいと思います。例えばコミュニティふらっとか正門の前は少したまり空間、もしくは緑道的な空間を少しでもつくりたいと思っていますが、その一角に子どもたちと地域の皆様が共に育てられるようなコミュニティ花壇のような「憩いの花壇」のようなものをつくって、緑の景観を皆さんと一緒につくっていけるような学校づくりができないかなと思っています。</p> <p>そのほか、このコミュニティふらっとの活動であるとか、2階の特別教室での様々な活動が外ににじみ出るようなにぎわいのある、にぎわいの感じられるような地域の拠点としての学校づくり、新たな今までにない複合施設を考えていきたいと思っています。</p> <p>以上が、今回改築・整備の現時点で考えております説明になります。これから皆様のご意見を頂戴しまして、よりよい計画にしていきたいと考えております。</p> <p>ご清聴ありがとうございました。</p>
委員	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ここで委員の皆さんからご意見やご質問を頂きたいところなのですが、少しお時間ありますので、せっかくですので、今グループごとに分かれていますので、少しグループでこのことについて話し合いをしていただいて、そこで出た意見を後ほど言っていただければと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>短時間ですけれども、少し意見交流をしていただければと思います。よろしく願いいたします。</p>
(グループワーク)	
委員	<p>皆さんお話が進んでいるところですが、まずここで何かご質問がある方いらっしゃいますでしょうか。お願いします。</p>
委員	<p>ご丁寧なご説明ありがとうございました。</p> <p>ちょっと気になっていたのですが、今提案を受けている中で、配置計画がまだはっきり決まっていないときに、具体的なこういうものを示されると、「これがいいのではないか」とか、そういう思いがすると思うのです。現実的にどっちというのは分からないのですが、ただ北側の配置と東側、南側という3案が出ていて、詳細な北側のこの配置がここに表れていますよね。配置がまだ決まっていない中で、どう配置したらいいか検討するときに、東側、南側の詳細的なものがないの</p>

	<p>で、比較できないのですよね。</p> <p>ですから、今、昭和設計さんとちょっとお話したのですけれども、あくまでも北側のほうで提案されたということなのですからけれども、皆さんの中で、これが一番いいとなればいいのですけれども、比較する内容が、あまりにも資料がない。東側と南側と。ただ、5ページですか、書いてあるそのものだけなので、この辺はどうなのでしょう。これで行くなら行くで、決まるのだったら、それはそれでまた違った方法だと思ふのですけれども、私に疑問があったのはそういうことなので。</p> <p>内容は、結構しっかりしていると思います。ただ、配置計画の3案のうちどうするのかというのがまだ何にも決まっていなかったということが、昭和さんでは、やりやすい形で具体的に出してくれたと思うのですけれども、その辺どうなのでしょう。</p>
委員	事務局のほうでお願いします。
学校整備課長	<p>ありがとうございます。</p> <p>先ほど私からも申し上げましたけれども、今回は企画提案のあくまで最初のご紹介ということでございますので、資料1かな、先ほど進め方をご紹介させていただきましたが、複数の配置の案をお示しして、ある程度中身もお示ししながら比較検討して、まず大きな配置を決めていくというところは次回からやっていきたいと思っております。</p> <p>そうした中でも今回ご紹介させていただいたのは、企画提案の中でこういったものが選ばれていると。これは別に案を選んでいるわけではございませんが、それをご紹介して、昭和設計さんの考え方ですかアイデアとか、そういったものをまず共有していただいたというところでございますので、今日はその中で、こういったところはぜひ取り入れてほしいだとか、あるいはこういったところが気になるよというところがあれば、ぜひご意見いただいて、今後に生かしていきたいという、そういう趣旨でございます。</p>
委員	<p>ありがとうございます。理解できました。内容的には非常に自分はこの仕事をやっていたことがあって、今現在の学校教育の中のものがかなり網羅されているなというのが感想です。細かいところについてはこれからまた出るとは思いますが、本当に提案としてはかなりいい提案だと自分は思っています。</p> <p>ただ、さっき言った配置のだけはあれなので、そういうことでこれから出てくるということであれば、理解いたしました。ありがとうございます。</p>

委員	ほかに、ご意見やご質問があればお願いいたします。
委員	<p>今のご意見というかご質問に関連してなのですが、冒頭に説明があったようにプロポーザルというのは案を選ぶということではなくて、あくまでも人といいますか、設計事業者を選ぶということです。詳細にかなり案が示されましたが、これをそのまま採用するというということではないということで、当然配置に関しても、北側配置案以外にも、いろいろ東側とか、南側とか。この委員会でもいろいろ検討はしてきて、特に方針の基本計画に北側だとか東側だとか示されているわけではないので、今回もほかの提案も参考資料に載っていますが、特段この北側というのが決定しているわけではないと。</p> <p>恐らく北側のメリットというのは、今と同じ校舎配置になりますので、教室を南側に配置してグラウンドがそこに面しているという形で、環境としては非常によいのかなと思います。</p> <p>一方で仮設校舎をどうしてもつくっていかないといけないという部分もあるので、その辺の工期とかコストとか、その辺を少し当然検証した上で決めていく必要があるかなと思いますので、もうちょっとその辺の比較できるような資料等をご用意いただいて、皆さんに分かるように、場合によっては南側にしようと、仮設をつくらないようにしようと、その場合にどういう案ができるのか、場合によってはそれを作成いただくということもあるかもしれませんが、その辺の配置の検討に関してはもう少し具体的な資料を頂ければと個人的には思います。</p> <p>私からは以上です。</p>
委員	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、お願いいたします。</p>
委員	<p>私はゆうゆう館関係者として出席しているのですが、今回、提案の資料2を見ていて感じたことで、コミュニティふらっとに関して。</p> <p>前回、8月に頂いた西宮中学の改築及びコミュニティふらっと宮前整備の基本計画案を見ますと、その20ページに、それぞれ諸室の広さだとか、どういう使い方をするのだということが書いてあるのですが、この中に1つ、下の「※」を見ていきますと「中学生から要望が多かった楽器練習ができる部屋など、施設規模等を踏まえて設置可能性を検討する」と書いてあるのですが、今回のこの提案には、その辺のところは反映されていないように思うので、楽器練習室が、コミュニティふらっと永福とかコミュニティふらっと高円寺南を見学してみますと、それぞれ20平米程度の広さのものが設置されているのです。ですから、諸室</p>

	<p>の想定からすると、集会室4室、多目的室、ラウンジ等、全部想定しても、600平米で十分賄えると感じるので、何でこれをなくしてしまったのか。そこを聞きたいのです。</p> <p>要するに需要がなくて、そんなに学生さんが使わないだろうと思って削ってしまったのか、あるいは、これはそれぞれの集会室、多目的室、ラウンジの一部を使えば20平米の面積が得られると思うので、検討していただきたいなということを思っています。本当は諸室のときに話をすればよかったかもしれないですけども、スルーされてしまうと、あとが出てこないのので、提案させていただきました。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>今後の話の中で多分そういったご意見も。</p> <p>事務局でよろしいですか。では、お願いします。</p>
地域施設担当課長	<p>地域施設担当課長です。本日は遅れてきて申し訳ございませんでした。</p> <p>諸室の配置、特に楽器練習室のところについてご指摘を頂いたわけですが、まさに諸室の内容についてもこれからというところで、設計事業者さんには、まだ当然、楽器練習室ができないかなというところで提案を、こちらからも示していきたいと考えておりますので、その中できちんと入るかどうかというのは最後まで見定める必要はございますけれども、今のところ、その楽器練習室というのがなくなるという話ではございませんので、プロポのこの資料上は今入っていないかもしれませんが、まだまだこれからということでご理解いただければと思います。</p>
委員	<p>ありがとうございました。了解しました。</p>
委員	<p>続いて、お願いします。</p>
委員	<p>詳細な案が出ているので、どうしても「これはどうしてなのか」というところがあると思うのですが、皆さんおっしゃっているように、プランはこれからというところで、恐らくこの校舎の配置というところが一番大きいといえますか、そこがまず固まってくることで、そういった諸室の配置とか、中のことに議論が及んでくるというか、そこが決まらないうと逆に形も変わってくるということがあると思うのですが、恐らく配置が一番最初に検討されることなのかなと思うのですが、私も付け足しで資料的な、どこまで分かるのかなと思っていることは、配置が、恐らく学校の中ということもありますが、周辺環境との調和ということも意識されるのかなと思っていて、今回はやや不確定なところとして、北</p>

	<p>側にマンションが建設される予定になっているのかなとお聞きしています。そういう意味で周辺環境が固まっているのではなくて、やや未確定な部分もあるのかなと。</p> <p>……少し寄るといよりは押さえておいたほうがいいのかなどという気もして、その辺、業者さんのほうで何か資料とかがあるようでしたら、そのマンションの配置とかも参考資料であるほうが皆さん考えやすいのかなとも思ったりしたところではあります。今はないのですが、そこにたくさんの方がお住まいになることになると、校舎とは一番近い住民の方々ということになるのかなと思ひまして、発言をしておこうかなと思ひました。何か現時点で分かっていることとかはあるのでしょうか。私も調べれば分かるかもしれないのですが。</p>
委員	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、事務局よろしいですか。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>今現時点で分かっているマンションの情報になるのですけれども、私も先日その北側のほうに見に行ったところ、建築計画も出てはいるのですけれども、なかなか大きめのマンションで、4階建ての地下1階で、140世帯ぐらいが入れるような大きなマンションで、隣に高齢者のサービスの施設も、という形だそうです。</p> <p>皆さんお帰りのときにも見ていただければと思うのですけれども、「バウス久我山」というマンションだそうです。これからの募集ですとか、そういったものをしていきますということで広告も出ていました。取り急ぎ、今の現状分かっているところは、新築分譲マンション「バウス久我山」、2026年春公式ホームページ公開予定ということでございました。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>では、ほかに何かご意見。</p>
委員	<p>20ページを御覧いただきたいのですが、今、子どもたちはまた指導要領が変わりましたら、教科書がとても厚くなってきています。そして教科も増えているということで、ここに書棚がありますけれども、到底こんな中に収めきれない現状です。そして子どもたちは、リュックに重い本を入れて、日々、本当に二宮金次郎状態のような感じで本を運んでいる。そして、ここにテーブルで囲んで話合いの理想的にありますが、今現実問題として、ここに書棚を置いて、ここに教科書類など、入り切らないものを入れている学校が多いです。</p> <p>ということで、まず多目的室も普通教室に転用できるようにお考えな</p>

	<p>のですが、そのときの、今回、今、西宮でもそうでしたけれども、棚がなくて困ったという状態があったのです。なので、多目的であろうと、普通教室に転用する場合の準備というか備えは必要かなと思うことと、それから教科書が厚くなっていることで、入る量も考えた上での教室の設備をつくらないと、現実合わないかなと思っています。</p> <p>あと、コミュニティふらっとの図書室を使って勉強する空間がありますけれども、子どもたちが自習をしたい。今、宮前図書館の3階でやる空間があるのですけれども、実は中央図書館の学習室がとても人気で、なぜかという個に仕切って非常に勉強しやすい。ぜひそういうのも参考にしていただいて、宮前のふらっとのところも考えていただければと思います。</p>
委員	<p>分かりました。では、ほかに。</p>
委員	<p>よろしくお願ひします。資料ありがとうございました。</p> <p>私はふだん学校におりまして、子どもたちの学習の、主に放課後の学習を日々見ているものですから、最初、昭和設計さんが出してくださった、いろいろな中学校も含めたすてきだなと思うようなスペースをつくるに当たっては、それぞれの学校のビジョンがあった上で、そこを中心にとという部分でいったのを見て、西宮中学校は自主・自律の教育を主に動いてはいるのですけれども、実はそれだけではなくて、ビジョン1のところでは学びの循環で実践、それぞれがうまくラーニングセンターを中心に活動と、放課後を利用することも多いかと思うのですけれども、それ以上に、実はうちは文武両道ですので運動部・文化部の放課後の学習が日々すごく活発にされています。</p> <p>ですから、実際、このラーニングセンターを中心にとというのは今、実は図書館がその自主的に活動する子は図書館を利用して放課後に来ているので、そういう子もいっぱいいます。「じゃあ」と言ってそれぞれ普通教室を利用して、当然吹奏楽、先ほどお話ししていた楽器の練習スペースもありますし、場合によっては運動部が雨天の場合はそれぞれ廊下を使って自主トレ的な筋肉トレーニングをやっていたりというくらい、学校のありとあらゆるスペースが全部子どもたちで埋まっている状況なのでですね。そうなったときに、このラーニングスペースは、どちらかといったら個々に学習したい子にとってはいいのかもしれないけれども、事実、西宮中は割と部活動を中心にそれぞれがパート、パートで活動していくということが主なものですから、そういった場所を多く欲しいなと思っています。</p>

	<p>それと、せっかく杉並区で初めて学びのプラットフォームで複合施設、コミュニティふらっとができるわけですね。コミュニティふらっとの設計図を見ると、決まっているコミュニティふらっととしての必要なラウンジだったり、集会室、多目的室というのは設置はされているのですが、私は西宮中学校として、何で複合、コミュふらがうちの学校の敷地内にあっていいか、そこを了解した一番の理由は、コミュニティふらっととコミュニケーションを取る以上に、狭い敷地の中で今活動していますので、コミュふらもうまく放課後に利用できればいいとつくづく思って、コミュふらがあればいいなと思ったわけです。</p> <p>ですので、入り口の問題はあるのですが、今の設計図からいくとラウンジだけが、それも個々にちょっと談話したり、勉強する自主的、でも、ラウンジはあくまでも談話することが中心なので、そこでテスト勉強はできません。なので、そうしたときの西宮にとってコミュふらがある利点は何なのかなと思ったとき、この設計図からは地域活動のために家庭科室や音楽室を利用するというのは地域側から見れば納得するのですが、学校側から見たら、ラウンジがちょっと使えるというだけでは、何で複合施設、せっかく私はコミュふらと一緒にするというのも賛成なのですけれども、そこでコミュニティを取る、中学生と一緒にコミュニケーションを持つ活動するという部分で、コミュふらの設計の部分は納得があまりできていないかな。</p> <p>実際多分、支援本部なので、実はそこも含めて、私中心に支援本部がコミュニティを取るスペースも含めて、運営というのは多分やることになるのかなと思ったので、私自身は既に想定しながら、実際できた後、どうやって運営していこうか、子どもたちとどうやって地域と絡めていこうかを考えたときに、こういう配置が本当に活用しやすいのかなと、コミュニティふらっとの内容について思ったことと、ふだん西宮中学校の生徒の放課後の活動を見ると、ラーニングセンターだけでは全然足りていないなというのを感じました。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>ありがとうございます。 事務局、お願いします。</p>
地域施設担当 課長	<p>地域施設担当課長です。コミュニティふらっとについて言及がございましたので、私から今のところの考えということですが、ラウンジについては、確かに談話のスペースというところもありますし、ほかのコミュニティふらっとにおいても自習をするようなスペースという</p>

	<p>のを設けているところでもあります。</p> <p>ただ、でも、それだけかというところについては今後もあるのですけれども、参考までにほかのコミュニティふらっとにおいては、集会室等で開いている時間について、そのラウンジにプラスして勉強できる場所として開放するような、そんな取組をしているところもあつたりしますので、そうした運用のことも含めて、今後の設計の中でこういった形でつくり込んでいけばよいかというところはまだ見ていきたいところもございますので、まさにこれから後段、お話しさせていただこうかなと思ったのですけれども、今後の懇談会の中でも、そうしたご意見、まだまだ頂戴できれば設計に反映できるのかなと思っておりますので、ぜひよろしくお願いをいたします。</p>
委員	<p>お願いいたします。</p>
委員	<p>今のお話にちょっと絡む話になると思いますけれども、そのコミュニティふらっとの配置とか、それを中学生がどう利用していくのかという話と、それからコミュニティふらっと側から学校の施設の利用というのも、これは基本計画にも少し挙げていて、学校施設の開放というのもあって、それをどう考えていくのかというのは結構重要な問題かなと思います。</p> <p>提案なのであれば 23 ページに、そのゾーニングのあれがありますが、学校側だと、家庭科室、音楽室、美術室がコミュニティふらっとの上の階にあって、場合によってはここを開放できるようにするというストーリーもある。当然ラーニングセンターも含めて、残りの特別教室も開放して、全部の教室を地域開放するという可能性も当然あるのですが、特に、コミュニティふらっとの上の階にどういう部屋を置くかというのは意外と重要で、この案を採用するとすると、そうすると今、基本計画では家庭科室等で、どの部屋を開放するという指定はしていませんが、提案では家庭科、音楽、美術がここに入ってくると。基本計画のほうはほかに多目的室というのも書いてあって、これは恐らく学校の多目的室を地域に開放するという想定だと思いますが、その辺、どういう部屋を比較的開放の一番使いやすい場所に置くかというのは、少し議論していかないといけないのかなと思ってはいます。</p> <p>これはその設計者の提案の問題というよりは、杉並区側がそこをどう捉えるかということだとは思いますが、もし何か現時点であれば、事務局からコメントを頂ければと思います。</p>
委員	<p>事務局、お願いします。</p>

学校支援課長	<p>学校支援課長です。現在区立の小中学校の校庭、体育館を中心に開放しているのですが、一部の学校で多目的室ですとか、音楽室を開放施設にしているところがあるという状況でございます。</p> <p>ですので、音楽室は開放施設としてニーズはあるのかなと推測しております。</p>
委員	よろしいでしょうか。
委員	特にどういう特別教室が、より今後コミュニティふらっと連携して開放されるかというのは、あまりまだ具体的な想定はないということでよろしいでしょうか。
学校支援課長	現時点での想定はまだカチッとしたものはないということでございます。
委員	<p>そこはいろいろまたご意見を頂ければ。当然開放しないというのもあると思いますけれども、開放した場合に、それが学校のセキュリティを守りながらスムーズに開放できるような配置とか、区画というのは求められると思いますので、ここはなるべく意見を伺いながら、決めていく必要があるかなと思います。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ほかにご意見ありますか。</p>
委員	<p>いろいろと先ほどちょっとお話ししたのですけれども、こういうものを見ると、具体的な提案だと思われて、私も思ったのですけれども、そうではないということなので、今日は昭和設計さんが初めて我々と顔を合わせているわけですので、こういう場の中で皆さんから意見を聞いたものをこれから反映していくと理解しております。あくまでも参考資料なので、これがそのまま行くとなると、本当詳細な細かいことまでどんどん入ってしまうので、先ほど言いましたように配置計画がある程度決まれば、もうこれで行くのだとなれば、そうすれば具体的な内容を聞くし、さっきの学校開放の問題もそうですし、いろいろな施設の問題の細かいのはこれから出てくると思うのですよね。ですから、この懇談会は9回やるということなので、その中である程度皆さんの意見を出していただければ、その中で反映されると。あくまでも先ほど言いました昭和設計さんと初めての顔合わせなので、この雰囲気を知っていただければいいかなと私は感じています。</p> <p>事務局ではないのですけれども。</p>
委員	ありがとうございました。

	<p>少し時間が押していますので、進めさせていただきます。</p> <p>次回以降の懇談会で検討する校舎の配置計画などについて、事務局からお願いいたします。</p>
<p>学校整備課長</p>	<p>次回しっかり、この北校舎だけに限らず複数の配置の案をお示しして、教育環境的にどうなのか、周辺の住環境的にどうなのか、それから工期がどれぐらいで、コストがどうなのか、そういったところを多重に比較しながらしっかり検討していきたいと思っています。</p> <p>まずはそういった校舎の配置、それから校舎の配置とセットで人の動き、動線、人がどうなるのか、車両はどうアクセスするのか、そういったところも決まってくるし、今お話が一部ありましたけれども、普通教室や特別教室やコミュふらの大きなゾーニング、こういった大きなところを次回、それから次の回ぐらいで、しっかり議論をしていきたいと思っていますので、今回はその予告といいたいでしょうか、そういったことだということをご理解いただければと思いますので、よろしくお願いたします。</p>
<p>地域施設担当課長</p>	<p>続きまして、地域施設担当課長です。私からは今後の設計に向けまして、コミュニティふらっとの部分について、次回以降の懇談会の中でご意見いただければありがたいなと思うポイントについて、ご説明をさせていただきます。</p> <p>具体的な建物ですとか、諸室の配置の決定はこれからということとはいえ、本日の設計事業者さんからの説明で、何となくかもしれませんが、学校とコミュニティふらっとが一体的に整備されるイメージというのは見えてきたのかなと思うところもあります。</p> <p>一方で、実際の運用に当たっては、学校が運営しているときの時間帯ですとか、あとは放課後や土日など学校が閉じているというのでしょうか、そうした時間帯の中で、施設の使われ方が変わってくるということもありますので、そうした場面ごとの運用を想像しながら、どのような設計が必要なのか、そういった具体的な部分を考えていくということになろうと思います。</p> <p>そうしたことを踏まえて4つほど、今後いろいろご意見いただけたらいいかなというポイントみたいのところをご説明させていただきたいと思っています。</p> <p>1つはセキュリティです。授業をやっているような時間帯、コミュふらはコミュふらのほうで、当然運用が完結していることをイメージするわけですが、学びのプラットフォームとして学校の活用を考えた</p>

場合には、そうした活用ができる時間、どのようにセキュリティを考慮する必要があるのかなというところ。

2つ目は震災救援所としての活用。これは発災時の活用計画については、震災救援所の運営連絡会の中で検討することになるのですが、その前提として、どこまでどのように使えるようにするのですかねというところ。

今回のプロポーザルの提案の中では、学校教育を速やかに再開していくというところで、校舎西側のところを避難エリアにするという、そんな考え方も示されておりますが、これでいいのかなというところも含めて、具体化をどうするのか、もろもろのそういった観点でご意見を頂ければありがたいなと思っております。学校を再開する中で避難者がいると、両方いるという状況の中で、これはセキュリティの話とも関連するのかなというところも思います。

3つ目は学校職員とコミュニティふらっと従事者、また、コミュニティふらっと等に関係する区民とのコミュニケーションの取り方というところ。私的には学校とコミュふら、そうした関係する方との間で、できるだけ縦割り感なく、常にコミュニケーションが取れた運営というのができればよいなと思っておりますので、そうした運用を踏まえた諸室のレイアウトなど、運用方法に関するところになるかもしれませんけれども、ご意見があるとありがたいかなと思っております。

最後、4つ目というところで、学校とコミュニティふらっとの一体的な整備でできるようになったらよいなと思うところ。放課後に中学生がコミュふらで勉強できたならよいなどのご意見、そうしたものは既に頂戴しているところなのですが、例えばコミュふらの活動でつくった作品を、中学生の目にも触れるような場所に展示できるようにして、多くの人にコミュふらの活動を知ってもらえるような、そんな工夫であるとか、実際の運用をイメージすると、まだまだそういったご意見が出てくるのではないかなと思っておりますので、なるべくそういった、早めにといえるのでしょうか、設計になるべく反映できるように、早めにご意見を頂きたいなと思った次第です。

これらにつきましては区としてももちろん考えていくことになるのですが、懇談会にご参加の委員の皆様からもご意見を頂けると、より深みのあるものができると考えておりますので、これ以外のポイントというのでしょうか、この4つのポイント以外のところも含めて、次回以降、またご意見をお寄せいただければありがたいなと感じておりま

	<p>す。</p> <p>ちょっと長くなりましたが、私からは以上になります。</p>
委員	<p>ありがとうございます。以上の件、何かご意見ありますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは全体を通して、最後に学識のお二人の先生からご意見、ご感想を頂けますでしょうか。</p> <p>お願いいたします。</p>
委員	<p>お疲れさまでした。何度か出たようにプロポーザルというのはあくまでも提案は事業者を選ぶということで、あくまでもここに出されたものというのは案ですので、当然配置も含めて、これからいろいろ議論をしながらよりよい案に向けて進めていくという方向でいいかと思います。</p> <p>また、時間も限られていますので、あまり行ったり来たりはしないように、なるべく要点をまとめながら、スムーズに最良の設計案に持っていけるようにできればいいかなと思います。</p> <p>なので、事務局側としてもさっき言った開放部分をどうするであるとか、セキュリティの考え方とか、コミュニティふらっとの在り方とか、そういうことについては設計者側というよりも発注者側で少し整理していかなければいけない情報もあるかと思いますので、その辺も委員会の前に少し事業者ともすり合わせながら、提案をしていただければと思います。よろしくお願いします。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>お願いいたします。</p>
委員	<p>お疲れさまでした。今日は、この事業者さんが決まってから初回ということで、いろいろなご意見が、いろいろな角度から、どのように進めていったらいいのだろうというお悩みも含めながら、ご意見を……けれども、校舎自体の配置であったり、中の諸室の物理的な配置、それから機能的な面とか、いろいろなフェーズの違う議論が行ったり来たりすると、なかなか決まってこないというところがあるのかな。やや……て、今日のようにせっかくグループワークができるような形になっているのかなと思うので、この部分、この部分についてという話をやや少し分けて明確にしていくことで、少しずつ……いたと思いました。</p> <p>ただ、今日出していただいたように、ラーニングコモンズを中心にと言うけれども、文武両道の体育会系の視点から見たらどうなのかとか、地域の支援本部からの使い方としてはどうなのか、まさにこういったと</p>

	<p>ころは実際に使う方の機能的な意見ということだと思うので、どうしても設計というのは、やや新しさも含めて、少しラーニングコモンズにメッセージが籠ったような、言い方を変えると偏ったような提案になることもありますので、そういう機能的な面でいろいろな角度から出させていただくというのはとても大事なことかなと思います。</p> <p>そのときに基本の配置がある程度あって、その辺りを組み替えていくことで実現できるのか。大きく最初の理念としての組み替えが必要なのか、そういうところとややフェーズが違うと思うので、その辺の進め方を事務局と事業者さんと詰めながら、皆さんの意見が反映されやすい枠組みをつくっていくことも大事かなと思いました。</p> <p>以上になります。</p>
委員	<p>ありがとうございました。それでは事務局から連絡事項をお願いいたします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>長時間にわたり本当にありがとうございました。</p> <p>事務局から3点お願いがございます。</p> <p>まず1点目。前回もそうなのですが、またこちらの懇談会の議事録をご確認いただければと思います。こちらから送付等させていただきますので、ご確認よろしくをお願いいたします。</p> <p>2点目。今回のご意見ですとか、ご質問が残っておりました方、また後日、何か気づいたことがございましたら、机上に配付させていただきました感想シートにご記入いただきまして、1月30日までに、学校整備課にお送りいただければと思います。また返信用封筒は後ほど受付でご希望の方にお配りいたしますのでお声がけください。よろしくをお願いいたします。頂きましたご意見やご質問につきましては、昭和設計さんとも協議の上、次回の懇談会にてお示しさせていただければと存じますので、どうぞよろしくをお願いいたします。</p> <p>最後、3点目です。次回の第7回目の懇談会の日程になりますが、お忙しいところ大変恐縮ですが、3月5日の10時から、こちらの会場で2時間ほどを予定しています。2月に関しましては選挙ですとか、いろいろ学校さんの予定等がございますので、開催することが難しく、3月5日の午前中でお願ひできればと思いますので、よろしくをお願いいたします。</p> <p>事務局からは以上となります。よろしく申し上げます。</p>
委員	<p>それでは閉会に当たり、学校整備支援担当部長より挨拶があります。</p>
学校整備支援	<p>学校整備支援担当部長です。本日はどうもありがとうございました。</p>

<p>担当部長</p>	<p>本日の懇談会は、今後の議論を深めていくきっかけの場になったのかなと思っております。懇談会の中で、学識の先生や、私どもの課長から、今後の議論を進めていく上での考え方、方向性などを少し具体的に示させていただきました。引き続き資料を昭和設計さんに作成していただきますけれども、皆さんの参考にしていただいて、さらにお考えを深めていただけたらと思っております。</p> <p>次回は繰り返し申し上げますけれども、複数案の配置案をお示しして、議論を深めてまいります。本日の資料のようなものが出てくると、具体的なイメージというのも出てきますので、これまで行ってきた議論とはまた違った形の議論ができるかなと考えております。次回以降も皆さんのご協力をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>
<p>委員</p>	<p>それでは本日はこれで閉会といたします。皆さんお疲れさまでした。ありがとうございました。</p>